

小山三中コミュニティ・スクール通信

2023年3月9日 小山第三中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）発行 第3号

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と保護者、地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みで、小山第三中学校では市教育委員会の指定を受け、平成27年度から導入しています。今年度も、PTAや地域ボランティアの代表と校長を含め8名の委員で、学校の現状や学校評価などについて年4回の協議を行いました。それぞれの内容について報告します。



第4回（2月14日）の学校運営協議会

第1回協議会（6月1日）

まずは、学校運営協議会規則の確認と、会員の互選により会長を選出しました。続いて、委員である校長から今年度の学校経営方針の説明がありました。

次に、昨年度の学校運営協議会では、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、地域学校協働活動について協議を行っていたことから、文部科学省発行の全国の先進校取組事例集をもとに、小山三中での方向性を検討しました。次は各委員の主な意見です。

- ・先生が先生でしかできない仕事に専念できるようにしたい。
- ・学校では何を望んでいるのか。また、何を必要としているのか。
- ・ボランティアのリストをつくってはどうか。
- ・既存のボランティアや地区の社会福祉協議会を活用してはどうか。

第2回協議会（9月28日）

学校から、夏休みまでに行われた部活動の大会やコンクールでの生徒の様子や2学期に行われる行事等の説明がありました。地域との関わりとしても、1学期に行われた大谷地区社会福祉協議会による花壇整備、夏休み中の図書ボランティアによる図書室のペンキ塗りやカーテンの取替え作業についても報告がありました。

地域学校協働活動についても協議を行いました。今回は、地域にどのようなボランティア組織があり、どのような活動ができるのか、学校はどのような取組を期待しているかなど、各委員がそれぞれ思いつくことを付箋紙に書いて貼っていく作業を行いました。今回の



苗の植え方を聞いている様子

作業の内容を次回までにまとめ、組織作りを進めていくことになりました。

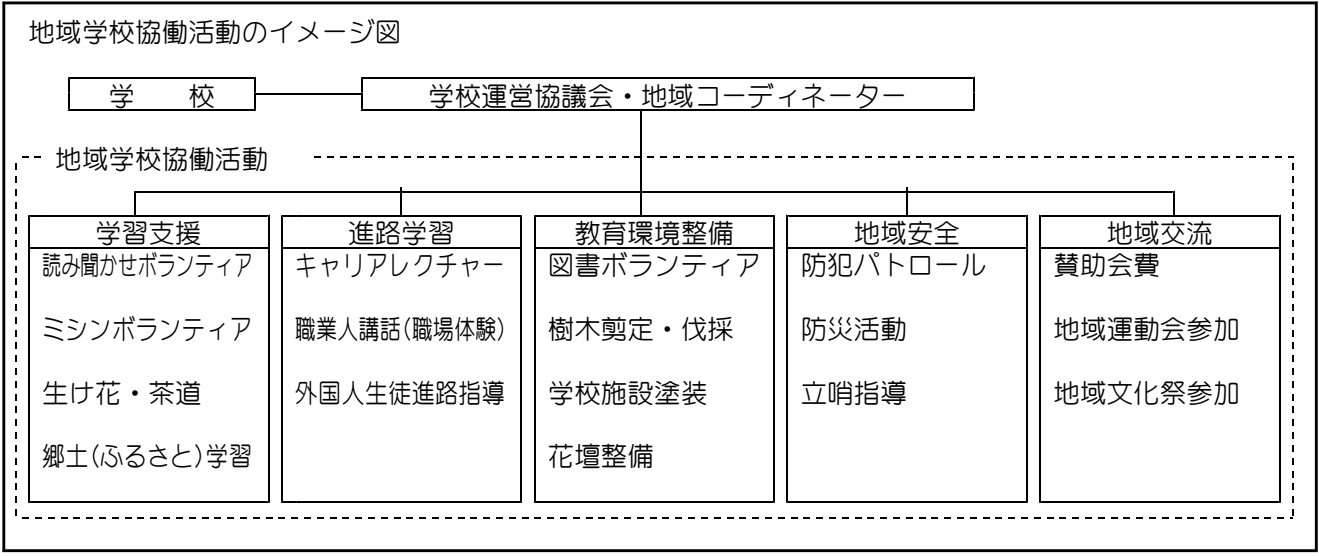
学校評価についても、昨年度の質問内容とその結果を参考に協議を行いました。質問内容については、朝食に関する質問を簡素化すること、すべての質問の回答に、「分からない」という選択肢を入れることを提案しました。また、学校からは回答方法について、今年度からスマートフォン等からQRコードを読み取り、質問に答えてもらう予定であるとの報告を受けました。



ペンキが塗られ、きれいにディスプレイされた図書室入口

第3回協議会（12月16日）

第3回協議会では、地域学校協働活動について、前回の協議会で各委員が付箋紙に書いた活動をまとめて図に示しました。これまで実施していただいた読み聞かせなどのボランティア活動、コロナ禍で中断していた活動、新たに取り組んでいければと思う活動を、「学習支援」、「進路学習」、「教育環境整備」、「地域安全」、「地域交流」の5項目に分類しました。新たな取組については今後、代表の方と連携を図りながら進めていければと考えています。（下図参照）



学校評価については、11月に行った生徒・保護者の結果について協議しました。前回の協議会で話題となった朝食については、食事内容はそれぞれですが9割以上の生徒が朝食を食べている（食べさせている）との回答でした。また、質問内容によっては「分からない」の回答が多かったため、学校にはこれらの周知をお願いするとともに、保護者が子どもに聞く必要もあるとの意見を述べました。

子どもの家庭での学習習慣や整理整頓については、保護者の評価はどうしても厳しくなるという意見も述べました。

第4回協議会（2月14日）

学校評価について、前回の生徒・保護者の回答に合わせ、教職員の回答も合わせた結果が学校から報告されました。小山三中では結果を数字（％）で示すとともに、教職員がチームを組んで、各質問についての考察や今後の取組を検討していることも報告されました。他の学校では、数字だけを公表しているところも多いため、三中の取組は評価されるものであり、今後はそれらを着実に実行してもらいたいとの意見も述べました。（学校評価の結果と考察等につきましては、3月1日に学校から配布されています。また、三中ホームページにも掲載されています。）

地域学校協働活動については、学校運営協議会委員と学校に関わるボランティアの代表者等が集まり、情報交換ができると良いのではないかと意見を出しました。

最後に、次年度の予定を確認しました。今後の新型コロナウイルス感染症の状況もあるが、地域との交流や職業人講話や職場体験学習などの復活も望む意見を学校に伝えました。

お知らせ

- ・読み聞かせボランティアの「おはなしフルール」が、昨年度の三支会（三中を支援する会）に続き、県教育委員会から表彰されました。今年度もたいへんお世話になりました。



※ 本通信は、三中ホームページにカラーで掲載されています。